

市民意識調査の結果の概要について

1 調査の概要について

(1) 調査の目的

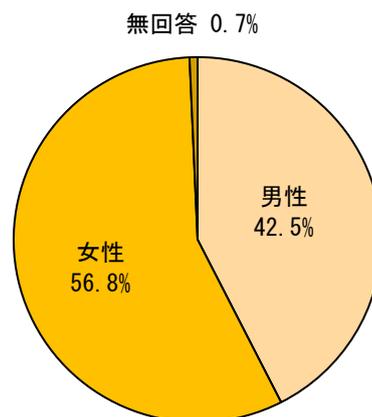
本調査は、市が提供する行政サービスについての満足度や重要度などを把握し、今後の施策展開の基礎資料にすることを目的として実施しました。

(2) 調査の対象・期間・回収結果

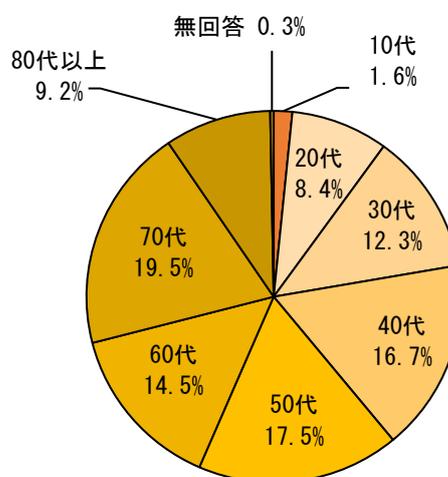
調査対象	18歳以上の市民から無作為に抽出した3,000人		
調査期間	令和3年7月20日に配付し、8月5日を期限として回収		
回収結果	配付数	3,000票	
	有効回答数	1,330票	うち、ネット回答388票
	有効回収率	44.3%	うち、ネット回答29.2%

(3) 回答者の内訳

性別	回答数	割合
男性	565	42.5%
女性	756	56.8%
無回答	9	0.7%
総計	1,330	—



年齢別	回答数	割合
10代	21	1.6%
20代	112	8.4%
30代	164	12.3%
40代	222	16.7%
50代	233	17.5%
60代	193	14.5%
70代	259	19.5%
80代以上	122	9.2%
無回答	4	0.3%
総計	1,330	—

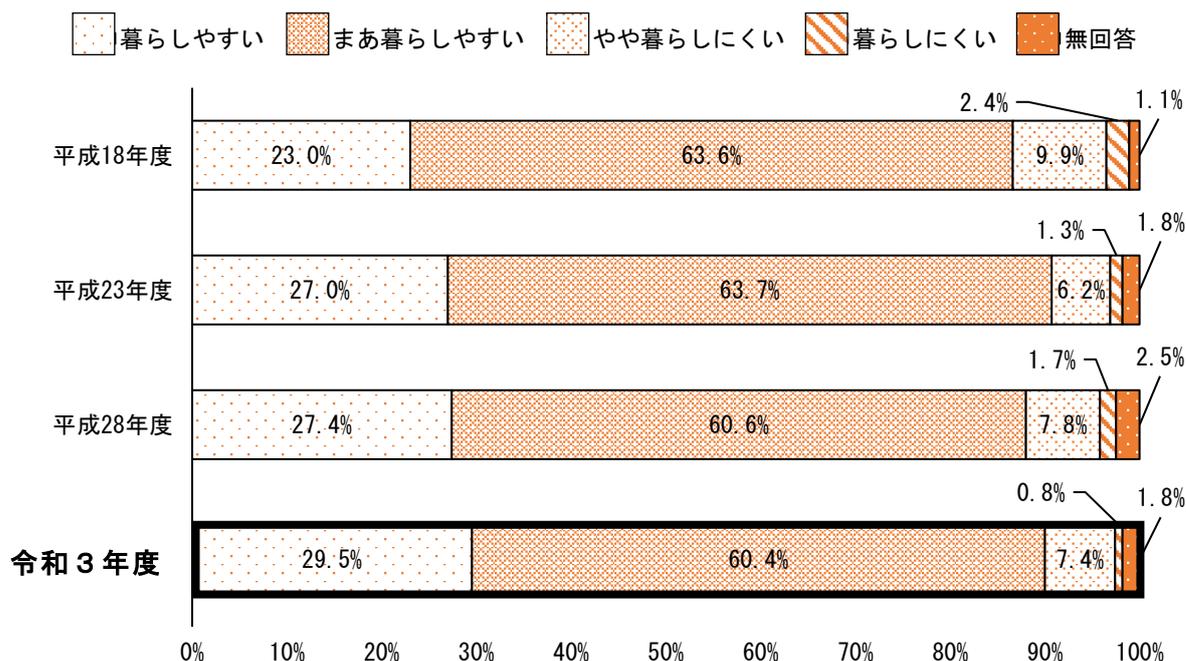


2 調査の結果について

(1) 春日井市の「暮らしやすさ」について

ア 春日井市の暮らしやすさ

春日井市の暮らしやすさについて、4段階の評価でたずねたところ、次のとおりとなりました。



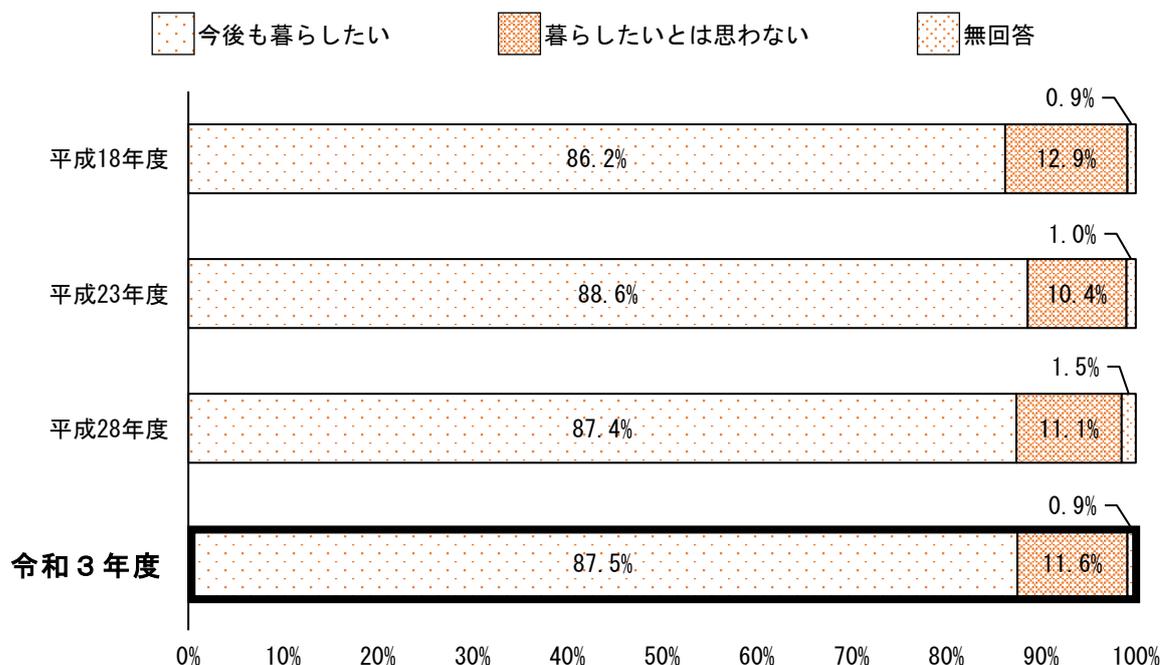
年度	暮らしやすい+まあ暮らしやすい
平成18年度	86.6%
平成23年度	90.7%
平成28年度	88.0%
令和3年度	89.9%

「暮らしやすい」と回答した割合は、平成18年度の調査との比較では、6.5ポイント増加し、平成28年度の調査との比較では、2.1ポイント増加しています。

また、「暮らしやすい」と「まあ暮らしやすい」をあわせた回答の割合は、平成18年度の調査との比較では、3.3ポイント増加し、平成28年度の調査との比較では、1.9ポイント増加しています。

イ 今後の居住意向

今後の居住意向について、2段階の評価でたずねたところ、次のとおりとなりました。また、その理由について、最大3項目をたずねたところ、次のとおりとなりました。

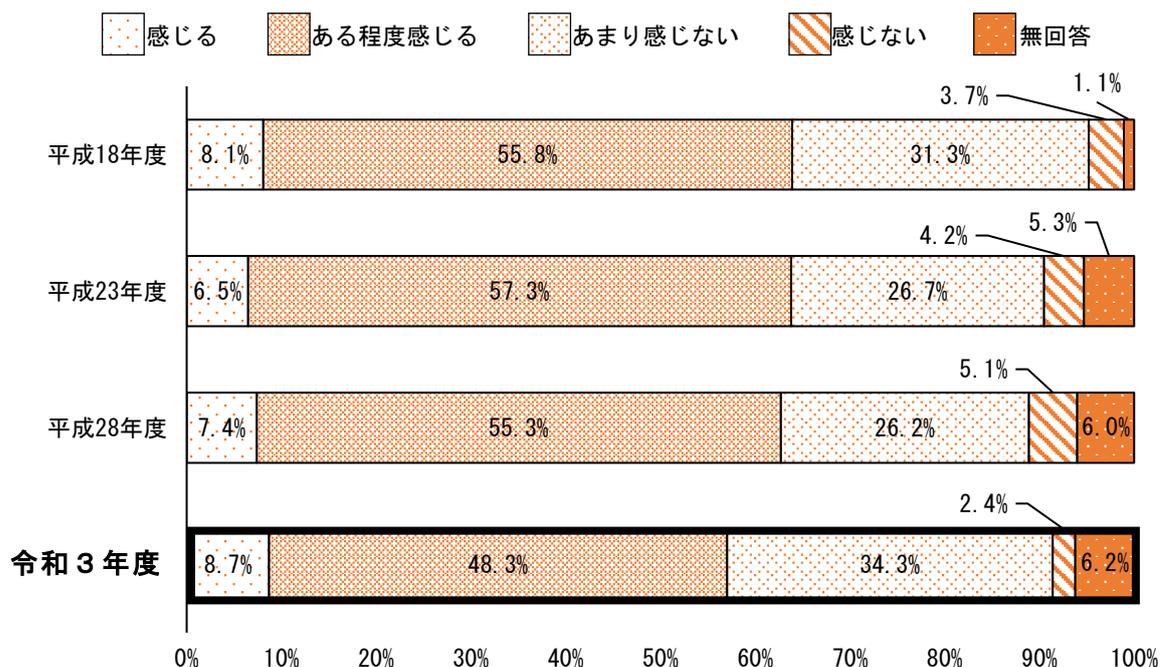


順位	今後も暮らしたい理由		暮らしたいとは思わない理由	
	理由	割合	理由	割合
1	住み慣れていて愛着がある	50.7%	交通の便が良くない	58.4%
2	買い物や外食が便利	38.9%	買い物や外食が不便	36.4%
3	住環境が良い	33.5%	都市基盤が整っていない	20.8%
4	自然環境が良い	31.2%	住環境が良くない	16.2%
5	交通の便が良い	29.6%	医療・福祉サービスが充実していない	

「今後も暮らしたい」と回答した割合は、平成18年度の調査との比較では、1.3ポイント増加し、平成28年度の調査との比較では、0.1ポイント増加しています。

ウ 春日井市の「魅力」や「誇り」

春日井市に魅力や誇りを感じるかについて、4段階の評価でたずねたところ、次のとおりとなりました。



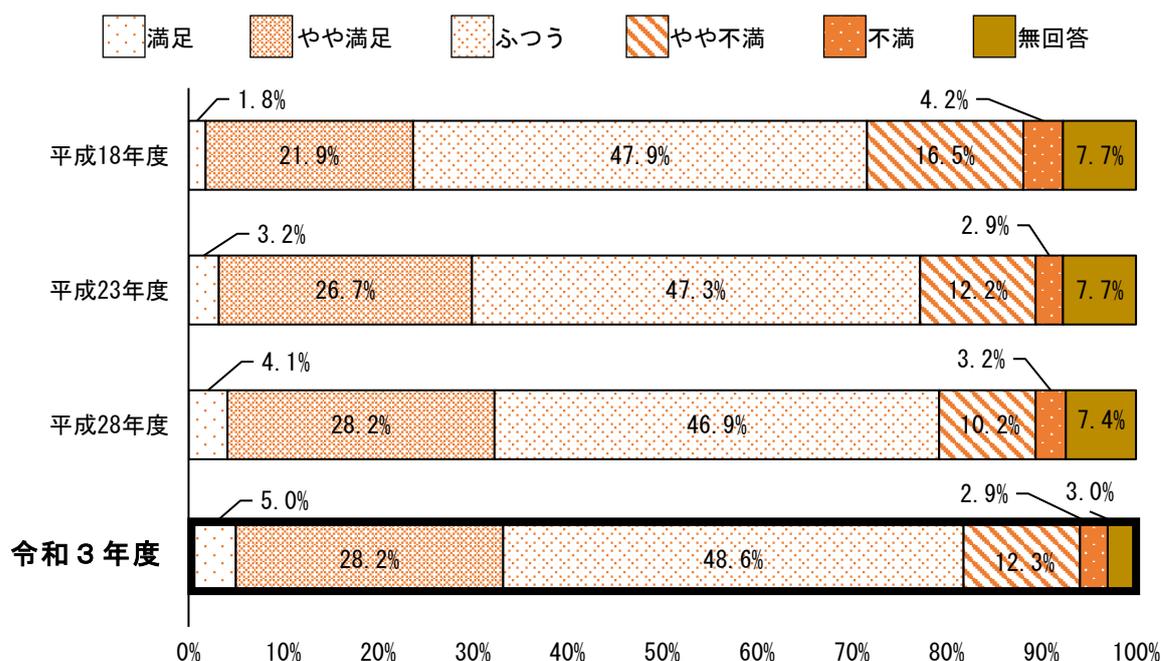
年度	感じる＋ある程度感じる
平成18年度	63.9%
平成23年度	63.8%
平成28年度	62.7%
令和3年度	57.0%

「感じる」と回答した割合は、平成18年度の調査との比較では、0.6ポイント増加し、平成28年度の調査との比較では、1.3ポイント増加しています。

また、「感じる」と「ある程度感じる」をあわせた回答の割合は、平成18年度の調査との比較では、6.9ポイント減少し、平成28年度の調査との比較では、5.7ポイント減少しています。

エ 市の取組全般に対する「満足度」

市の取組全般について、5段階の評価でたずねたところ、次のとおりとなりました。



年度	満足+やや満足	満足+やや満足+ふつう
平成18年度	23.7%	71.6%
平成23年度	29.9%	77.2%
平成28年度	32.3%	79.2%
令和3年度	33.2%	81.8%

「満足」と回答した割合は、平成18年度の調査との比較では、3.2ポイント増加し、平成28年度の調査との比較では、0.9ポイント増加しています。

また、「満足」と「やや満足」をあわせた回答の割合は、平成18年度の調査との比較では、9.5ポイント増加し、平成28年度の調査との比較では、0.9ポイント増加しています。

さらに、「満足」と「やや満足」、「ふつう」をあわせた回答の割合は、平成18年度の調査との比較では、10.2ポイント増加し、平成28年度の調査との比較では、2.6ポイント増加しています。

(2) 春日井市の「取組」に対する「満足度」と「重要度」について

ア 春日井市の「取組」に対する「満足度」

春日井市の「取組」に対する現在の「満足度」について、5段階の評価でたずねたところ、全51項目中、満足度指数の高い上位10項目は次のとおりとなりました。

順位	項目	散布図(8頁)での表記	満足度指数
1	快適で安全な生活環境の維持のための水道の整備	31. 上水道	32.14
2	生活圏内で適切な医療を受けられる体制や救急医療体制の充実	6. 医療	30.33
3	消防・救急体制の充実	2. 消防・救急	30.05
4	快適で安全な生活環境の維持のための下水道の整備	32. 下水道	21.30
5	健康を意識し、健康づくりができる環境の充実	5. 健康	19.07
6	良好な河川環境の保全や、緑化の推進など、やすらぎを感じる空間の継承と創出	33. 生活空間・緑化	16.45
7	快適な住環境の形成	28. 住環境	13.83
8	高齢者などが住み慣れた地域で医療や介護などのサービスが受けられる体制づくり	9. 地域福祉	12.30
9	ごみの減量と資源の有効活用	41. ごみ減量	11.96
10	妊娠、出産、子育てに関する不安や負担の軽減	11. 出産・育児	11.94

5段階評価（5：満足、4：どちらかといえば満足、3：どちらともいえない、2：どちらかといえば不満、1：不満）

指数の計算式

指数 = $(A_{i5} \times 100 + A_{i4} \times 50 - A_{i2} \times 50 - A_{i1} \times 100) / \text{取組 } i \text{ の回答者数 (無回答を除く。)}$

A_{i5} …取組 i を「満足」と回答した数

A_{i4} …取組 i を「どちらかといえば満足」と回答した数

A_{i2} …取組 i を「どちらかといえば不満」と回答した数

A_{i1} …取組 i を「不満」と回答した数

イ 春日井市の「取組」に対する「重要度」

春日井市の「取組」に対する今後の「重要度」について、5段階の評価でたずねたところ、全51項目中、重要度指数の高い上位10項目は次のとおりとなりました。

順位	項目	散布図(8頁)での表記	重要度指数
1	犯罪を起こさせない環境づくり	3. 防犯	76.29
2	交通事故が発生しにくい環境づくり	4. 交通安全	75.29
3	生活圏内で適切な医療を受けられる体制や救急医療体制の充実	6. 医療	74.83
4	災害に対して不安なく暮らせる	48. 災害の不安解消(防災)	73.98
5	消防・救急体制の充実	2. 消防・救急	73.68
6	公共交通の利便性の向上	29. 公共交通	67.59
7	いじめの未然防止や早期発見、不登校の子などへの支援	18. いじめ・不登校	67.08
8	誰もが、不便を感じずに移動できる	49. 不便を感じない移動(交通の利便)	66.29
9	ごみ出しルールやマナーを守るなど、地域における環境美化意識の向上	42. 環境美化	65.84
10	防災・減災に対する市民意識の向上	1. 防災・減災	64.84

5段階評価(5:重要である、4:どちらかといえば重要である、3:どちらともいえない、2:どちらかといえば重要ではない、1:重要ではない)

指数の計算式

指数 = $(Bi5 \times 100 + Bi4 \times 50 - Bi2 \times 50 - Bi1 \times 100) / \text{取組 } i \text{ の回答者数(無回答を除く。)}$

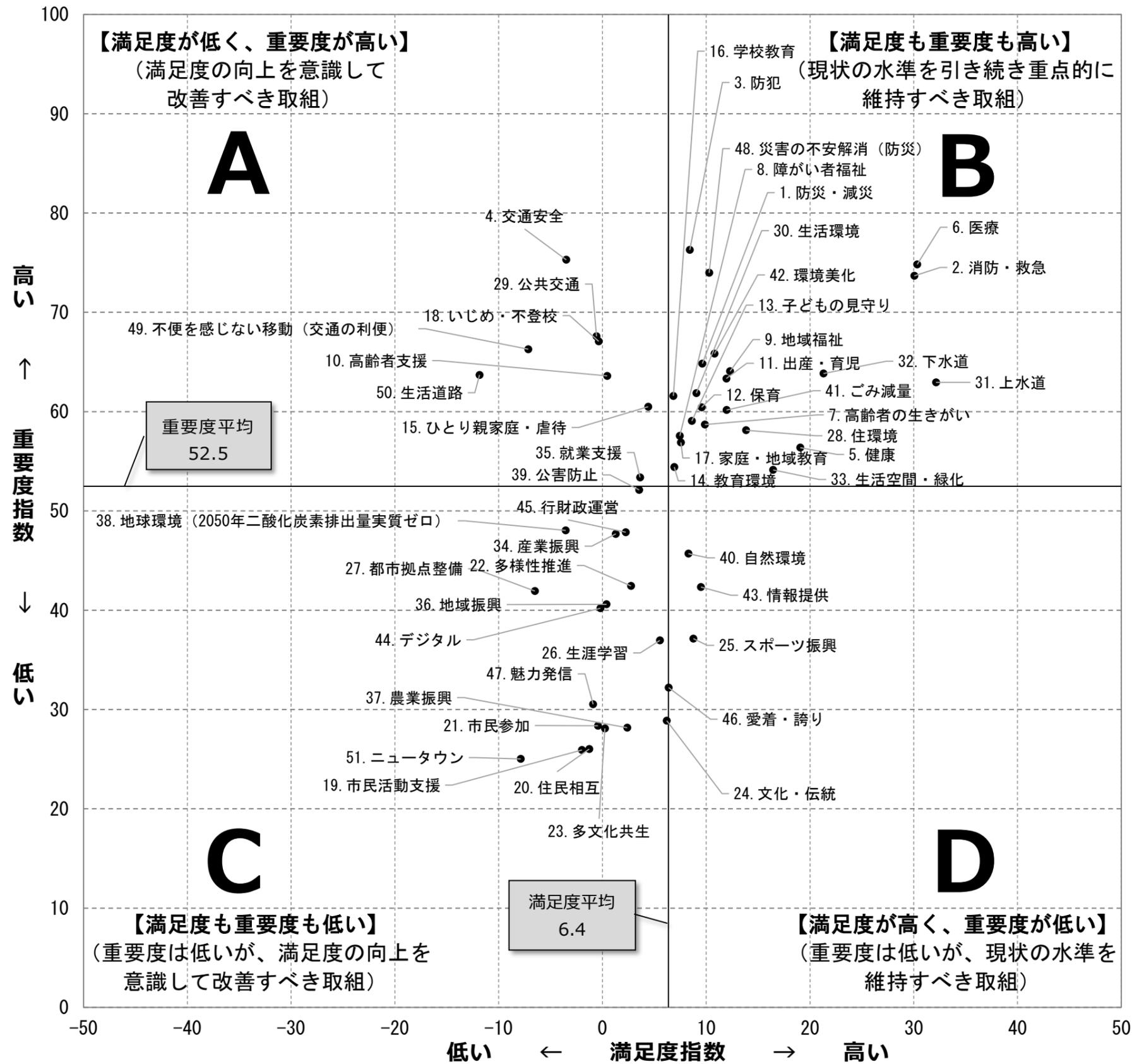
Bi5…取組 i を「重要である」と回答した数

Bi4…取組 i を「どちらかといえば重要である」と回答した数

Bi2…取組 i を「どちらかといえば重要ではない」と回答した数

Bi1…取組 i を「重要ではない」と回答した数

ウ 満足度指数と重要度指数による各取組の散布図



(3) これからのまちづくりについて

ア 春日井市が力を入れていくと良い分野

春日井市は今後どの分野に力を入れていくのが良いかについて、全 17 項目から最大 3 項目をたずねたところ、次のとおりとなりました。

順位	力を入れていくと良い分野	
1	安全なまちづくりの推進	46.5%
2	交通の利便性の向上	40.9%
3	高齢者福祉の充実	34.5%
4	子育て支援・教育の充実	31.2%
5	経済の活性化	18.0%
6	都市基盤の整備	12.5%
7	高蔵寺ニュータウンの活性化	11.7%
8	環境の保全	
9	文化・スポーツ活動の促進	11.1%
10	公共施設の老朽化対策	10.5%
11	障がい者福祉の充実	10.0%
12	地球温暖化対策の推進	8.4%
13	地域の支え合い活動の推進	8.3%
14	市民の憩いの場の提供	8.0%
15	行財政改革	4.2%
16	市民活動の推進	2.0%
17	シティプロモーション	1.9%